

染色加工（基礎）

「染色加工（基礎）」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

（１）染色の基礎理論（9.30～11.00）

梶山女学園大学名誉教授 上甲 恭平

赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる（染色）現象“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論があるのですが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

（２）染料概論（染料と染色）（11.10～12.40）

元住友化学、今田技術士事務所 今田 邦彦

染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

（３）天然繊維の染色加工（基礎）（13.30～15.00）

梶山女学園大学名誉教授 上甲 恭平

天然繊維（セルロース系繊維、タンパク質系繊維）の染色加工技術は、それぞれの繊維が有している固有の繊維構造および特性が強く反映したものとなっています。講義では、まず、それぞれの繊維の染色現象を固有の繊維構造と関連させながらどのように考えられているのかを説明し、続いて、実際に行われている染色加工工程を工程の意味合いを含め、基本的な処理方法および装置等の基礎知識および技術について説明します。

（４）合成繊維の染色加工（基礎）（15.10～16.40）

元帝人、日本繊維技術士センター理事長 嶋田幸二郎

色の基本としての色彩について数値管理が必要であり説明します。また繊維の生産比率が高い合成繊維のポリエステル、ナイロンを中心に、各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎から解説します。工程や機械設備について図解して説明します。さらにはポリウレタン混の染色やマイクロファイバー関連の染色加工事例について触れてみる。最近の機能加工やSDGsに対する取り組みについても説明します。

■期日：2021年10月22日（金）

■参加費（税別）

■会場：オンライン（Microsoft Teams を使用）

会 員15,000円、協賛団体会員15,000円

■申込み締切：10月6日（水）

非会員23,000円、学生会員3,000円、学生非会員5,000円

配布資料を事前に送付します。

※正会員年会費は8,000円です。この機会にご入会ください。

■参加申込方法：Webよりお申し込みください。

<https://tmsj.or.jp/textile-college/webentry/>

■問合せ

日本繊維機械学会

■主催：一般社団法人日本繊維機械学会

Tel：06-6443-4691、E-mail：info@tmsj.or.jp

■協賛：大阪染色協会、関西ファッション連合

【注意事項】（１）開催前に配布資料、請求書等を送付します。参加費は事前または開催後3か月以内に振込みにてお支払いください。恐れ入りますが振込手数料は各自でご負担ください。

（２）講演の録音・録画、ならびに講演中のスライド画面等の撮影は固く禁止します。

（３）お申込みいただいた方へのみの視聴に限定します。